

政 府 公 著

康德八年十一月十日 第二千二百五十二號

目次抄

●部令 自動車交通事業取締規則(治安) 一
學校式日(民生) 二
日本人學生多數在學校之式日(同) 三
新東特別市令 本坡及新材之配給並價格統一五
制規則 七
●省令 市鄉設置文官分限委員會及委任文
地圖(交道) 九
郵政局及郵政局分室並郵政辦事所辦理事務 一
總圖(交道) 一
土地審決(地政) 二
五
三
二
一

部

令

治安部令第四十二號
茲將自動車交通事業取締規則制定如左

康德八年十一月十日

治安部大臣 于琛激

自動車交通事業取締規則

第一條 於本令所稱自動車交通事業者係

指自動車交通事業法及基於同法之命令所規定之旅客自動車運輸事業、旅客自動車運送事業、特定旅客自動車運送事業、貨物自動車運送事業或特定貨物自動車運送事業而言所稱自動車交通事業人者係指經營前項事業或業者而言

- 一 身分不確實者
- 二 未滿十四歲者
- 三 有傳染性疾病者
- 四 有粗暴過激之言動者
- 五 其他認為不適當者

第六條 供旅客自動車運輸事業用之自動車須於車內易見之處揭示左列事項

- 一 車輛號數
- 二 乘車定員
- 三 運轉者及車掌之姓名或記號
- 四 旅客於車內之遵守事項

第七條 供旅客自動車運輸事業用之自動車須於車輛之前面上部兩側各備置紫色燈一箇並於由車外前方得透視之處備置以電燈得以照明表示滿員之滿員牌

治安部令第四十二號
茲將自動車交通事業取締規則左ノ通制
定ス

康德八年十一月十日

治安部大臣 于琛激

自動車交通事業取締規則

第一條 本令ニ於テ自動車交通事業トハ自動車交通事業法及同法ニ基ク命令ニ規定スル旅客自動車運輸事業、旅客自動車運送事業、特定旅客自動車運送事業、貨物自動車運送事業又ハ特定貨物自動車運送事業ヲ謂フ自動車交通事業者トハ前項ノ事業又ハ業ヲ經營スル者ヲ謂フ

- 一 身元不確實ナル者
- 二 十四歲未滿者
- 三 傳染性疾病者
- 四 粗暴過激ノ言動アル者
- 五 其ノ他不適當ト認ムル者

第六條 旅客自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ニハ車内ノ見易キ箇所ニ左ニ掲タル事項ヲ揭示スベシ

- 一 車輛番號
- 二 乘車定員
- 三 運轉者及車掌ノ氏名又ハ記號
- 四 旅客ノ車内ニ於ケル遵守事項

第七條 旅客自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ニハ車輛ノ前面上部兩側ニ各一箇ノ紫色燈及車外前方ヨリ透視シ得ル箇所ニ電燈ヲ以テ照明シ得ル満員ヲ表示スル満員札ヲ備フベシ

- 一 車内ノ見易キ箇所ニ車輛番號、乘
- 二 車定員、運轉者及車掌又ハ助手ノ氏名ヲ掲示スルコト

關シ生ジタル保安上ノ重大ナル災害事故ニ付テハ直ニ其ノ顛末ヲ具シ別記第七號様式ニ依リ主タル事業地ヲ管轄スル省長ニ之ヲ届出ヅベシ

第五條 自動車交通事業者ハ左ノ各號ノ旅客之員司而從事其事業

●部令 自動車交通事業取締規則(治安) 一
學校式日(民生) 二
日本人學生多數在學校之式日(同) 三
新東特別市令 本坡及新材之配給並價格統一五
制規則 七
●省令 市鄉設置文官分限委員會及委任文
地圖(交道) 九
郵政局及郵政局分室並郵政辦事所辦理事務 一
總圖(交道) 一
土地審決(地政) 二
五
三
二
一

第二條 自動車交通事業人於其事業開始前須依另記第一號樣式向管轄其主要事業地之省長(在新京特別市爲警察總監以下同)呈報之如變更前項呈報之事項或將事業之一部或全部休止或廢止或將休止之事業復活時須於七日以內依另記第二號至第五號款式向管轄其主要事業地之省長呈報之

第三條 自動車交通事業人使從事其事業之運轉者就業時須於七日以內依另記第六號樣式向管轄其主要事業地之省長呈報之將其解雇時亦同

第四條 自動車交通事業人關於其事業所

第八條 供旅客自動車運送事業用之自動車須為左列之設備

一 於車內易見之處須揭示車輛號數、乘車定員、運轉者及車掌或助手之姓名

二 於車內易見之處須揭示運費表或備

第四條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第五條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第六條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第七條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第八條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第九條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第十條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第十一條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第十二條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第十三條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第十四條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第十五條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第十六條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第十七條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第十八條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第十九條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第二十條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第二十一條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第二十二條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第二十三條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

ハ七日以内ニ別記第六號樣式ニ依リ主

タル事業地ヲ管轄スル省長ニ届出ヅベシ

シ之ヲ解雇シタルトキ亦同ジ

第二十四條 自動車交通事業者ハ其ノ事業ニ

從事スル運轉者ヲ就業セシメタルトキ

置以電燈得以照明之運費表示器

三 須於由車外前方得以透視之處備置

事業者之商號或徽章及以電燈得以照

明表示空車之空車牌

在專為運送觀光旅客或團體旅客者無須
備置運費表、運費表示器及空車牌

第九條 運費表示器非受管轄其主要事業
地之市長（在京特別市為警察總監、
在設置警察局之市為警察局長）縣長或
旗長之檢查不得使用之

第十條 第八條第一項第一款之規定對供
特定旅客自動車運送事業用之自動車準用

第十一條 從事於自動車交通事業之運轉
者、車掌或助手須遵守左列事項

一 不准使定員外之旅客乘車或裝載超
過最大裝載量之物品

二 供旅客自動車運輸事業用之自動車
不准使泥醉者或無看護人之精神病者
乘車

三 不准使旅客乘於乘降口之踏板上

四 不准使旅客於停留所以外之場所乘

五 於停留所須停車但滿員時或無乘降
之旅客時不在此限

六 非於旅客之乘降終了後不准運行

七 不准開放車門運行

八 不准對公眾勸誘乘車或以獲得乘客
之目的滯自徘徊

九 不准至乘客不需要之場所或無故採
行迂路

十 達乘客定員時須揭示滿員牌

十一 於駐車場待客時或運行中可應旅
客之要求時須揭示空車牌

十二 無正當事由不准拒絕旅客之乘車

十三 不拘名義如何不准於所定之運
費、料金外要求金品或暗示其供與

十四 不准對旅客、通行人或其他人為
侮慢、粗暴之言動

十五 運送旅客自動車之車室常須保持
清潔

十六 燃料之殘滓、炭灰、廢油及其他有
害或有危險之虞之物品不准濫自拋棄

十七 服乘務中不准雜談

十八 於運送旅客之自動車服乘務者不
准著不潔之服裝

十九 服乘務中不准雜談

二十 於運送旅客之自動車服乘務者不
准著不潔之服裝

二十一 服乘務中不准雜談

二十二 服乘務中不准雜談

二十三 服乘務中不准雜談

二十四 服乘務中不准雜談

二十五 服乘務中不准雜談

二十六 服乘務中不准雜談

二十七 服乘務中不准雜談

シ又ハ電燈ヲ以テ照明シ得ル運賃表
示器ヲ備フルコト
三 車外前方ヨリ透視シ得ル箇所ニ事
業者ノ商號又ハ徽章及電燈ヲ以テ照
明シ得ル空車タルコトヲ表示スル空
車札ヲ備フルコト
モニ在リテハ運賃表、運賃表示器及
空車札ヲ備フルコトヲ要セズ

四 正當ノ事由ナクシテ旅客ノ乗車
若ハ物品ノ運送ヲ拒ミ又ハ降車ヲ要
求セザルコト

五 旅客ノ運送スル自動車ノ車室ハ
ノ供與ヲ暗示セザルコト

六 旅客、通行人其ノ他ノ者ニ對シ
賃、料金以外ニ金品ヲ要求シ又ハ其
ノ供與ヲ暗示セザルコト

七 旅客ヲ運送スル自動車ノ車室ハ
ノ供與ヲ暗示セザルコト

八 旅客ヲ運送スル自動車ニ乗務ス
ルモノハ不潔ノ服裝ヲ爲サザルコト

九 旅客ノ需メナキ場所ニ到リ又ハ故
ナク迂路ヲ採ラザルコト

十 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

十一 駐車場ニ於テ客待ヲ爲ストキ又
ハ運行中旅客ノ需メニ應ジ得ルトキ
ハ空車札ヲ揭示スルコト

十二 正當ノ事由ナクシテ旅客ノ乗車
若ハ物品ノ運送ヲ拒ミ又ハ降車ヲ要
求セザルコト

十三 名義ノ如何ニ拘ラズ所定ノ運
賃、料金以外ニ金品ヲ要求シ又ハ其
ノ供與ヲ暗示セザルコト

十四 旅客、通行人其ノ他ノ者ニ對シ
賃、料金以外ニ金品ヲ要求シ又ハ其
ノ供與ヲ暗示セザルコト

十五 旅客ヲ運送スル自動車ノ車室ハ
ノ供與ヲ暗示セザルコト

十六 旅客ヲ運送スル自動車ノ車室ハ
ノ供與ヲ暗示セザルコト

十七 旅客ヲ運送スル自動車ノ車室ハ
ノ供與ヲ暗示セザルコト

十八 旅客ヲ運送スル自動車ニ乗務ス
ルモノハ不潔ノ服裝ヲ爲サザルコト

十九 旅客ノ需メナキ場所ニ到リ又ハ故
ナク迂路ヲ採ラザルコト

二十 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

二十一 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

二十二 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

二十三 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

二十四 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

二十五 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

二十六 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

二十七 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

二十八 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

二十九 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

三十 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

三十一 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

三十二 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

三十三 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

三十四 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

三十五 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

三十六 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

三十七 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

三十八 乗客定員ニ達シタルトキハ満員札
ヲ揭示スルコト

七 為有防害供自動車交通事業用之自動車之運行之虞之行為者

第二十三條 合於左列各款之一者處三十日以下之拘留或三十圓以下之科罰

一 違反依第十三條或第十四條之規定

二 違反基於第二十一條規定之省長之命令者

第二十四條 對於前二條罰則之適用依康德五年勅令第二百二十五號關於適用行政法規罰則之件

附 則

另記第一號樣式 自動車交通事業呈報書

事業人之本籍、住所、姓名、生年月日、商號或名稱(在法人名、姓名、代表者之本籍、住所、姓名、生年月日)

主要事務所及營業所之名稱及位置

特許年月日

路線或區間或主要事業區域

車輛種別及輛數

運行計畫

運費及料金

事業開始預定年月日

記載上之注意事項
事業種別須依左列區分記載之

(一) 旅客自動車運輸事業(應一般之需用定路線於定期使用自動車而運送旅客之事業)

(二) 旅客自動車運送事業(非旅客自動車運輸事業而應一般之需用使用自動車運送旅客之事業)

第二十五條 本令自公布日施行但對於依

第二條規定之呈報之施行另定之

第二十六條 本令施行之際現經營自動車交通事業者須將依第三條規定之事項自本令施行之日起於三十日以內呈報之

第二十七條 依第二條至第四條之規定向省長(除警察總監)提出之書類須各作成二份經由管轄其主要事業地(主要事業地跨及二以上之市、縣或旗時為其主要事務所或營業所)之市長(在置警察局之市為警察局長)縣長或旗長

第二十四條 前二條ノ罰則ノ適用ニ付テハ康德五年勅令第二百二十五號行政法規ノ罰則適用ニ關スル件ニ依ル

附 則

別記第一號樣式 自動車交通事業届書

事業者ノ本籍、住所、氏名、生年月日、商號又ハ名稱(法人名、姓名、代表者ノ本籍、住所、氏名、生年月日)

主要事務所及營業所之名稱及位置

特許年月日

路線又ハ區間若ハ主

車輛種別及輛數

運行計畫

運賃、料金

事業開始豫定年月日

記載上ノ注意事項
事業種別ハ左ノ區分ニ依リ記載スルコト

(一) 旅客自動車運輸事業(一般ノ需用ニ應シ路線ヲ定メ定期ニ自動車ヲ使用シテ旅客ヲ運送スル事業)

(二) 旅客自動車運送事業(旅客自動車運輸事業ニ非シテ一般ノ需用ニ應シ自動車ヲ使用シテ

七 自動車交通事業ノ用ニ供スル自動車ノ運行ヲ防害スル虞アル行為ヲ爲シタル者

第二十三條 左ノ各號ノニ該當スル者ハ三十日以下ノ拘留又ハ三十圓以下ノ科罰

第二十四條 第二十一条ノ規定ニ基ク省長ノ命令ニ違反シタル者

第二十四條 前二條ノ罰則ノ適用ニ付テハ康德五年勅令第二百二十五號行政法規ノ罰則適用ニ關スル件ニ依ル

附 則

第二十五條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二條ノ規定ニ依ル届出ノ施

行ニ付テヘ別ニ之ヲ定ム

第二十六條 本令施行ノ際現ニ自動車交通事業ヲ經營スルモノハ第三條ノ規定ニ依ル事項ヲ本令施行ノ日ヨリ三十日以内ニ届出ヅベシ

第二十七條 第二條乃至第四條ノ規定ニ依リ省長(警察總監ヲ除ク)ニ提出スル書類ハ各二通ヲ作成シ主タル事業地(主タル事業地二以上ノ市、縣又ハ旗ニ跨ル場合ハ主タル事務所若ハ營業所)ヲ管轄スル市長(警察局ヲ置ク市ニ在リテハ警察局長)縣長又ハ旗長ヲ經由スベシ

另記第三號樣式

自動車交通事業休止呈報書

別記第11議題

自動車交通事業休止届書

另記第四號樣式

自動車交通事業休止復活呈報書

別冊第四號標式

自動車交通事業休止復活届書

事業人之本籍、住所、姓名、 生年月日、商號或名稱（在法 人時為其名稱、代表者之本籍、 住所、姓名、生年月日）	事業種別	部分	理由	期間	休止期間	復活預定期限
				至自 年年 月月 日日 日間		對於休止之許可年月日

事業者ノ本籍、住所、氏名 月日	事業種別	事業部	休止期間	復活年月日	復活年月日	復活年月日
至自年年月月日日						

事業者ノ本籍、住所、氏名 生年月日、商號又ハ名稱 人ニ在リテハ其ノ名稱、代 日者ノ本籍、住所、氏名、生年月日表送	事業種別	休止部分	休止理由	休止期間	復活豫定期月日	休止ニ對スル許可年月日
至自 年年 月月 日日 日間						

另記第五號樣式

自動車交通事業廢止呈報書

事業人之本籍、住所、姓名、 生年月日、商號或名稱(在法 人爲其名稱、代表者之本籍、 住所、姓名、生年月日)		廢止年月日	事業種別	廢止事由
對於廢止之許可年月日				
就業或解雇年月日	轉許可證官署證	事業種別	事業種別	事業種別
事業人之本籍、住所、姓名、 生年月日、商號或名稱(在法 人爲其名稱、代表者之本籍、 住所、姓名、生年月日)				

另記第六號樣式

從事於自動車交通事業之運轉者就業解雇呈報書

事業者ノ本籍、住所、氏名、 生年月日、商號又ハ名稱(法人 ニ在リテハ其ノ名稱、代表者 ノ本籍、住所、氏名、生年月日)		廢止年月日	事業種別	廢止事由
廢止ニ對スル許可年月日				
就業又ハ解雇年月日	轉許可證官署證	事業種別	事業種別	事業種別
事業者ノ本籍、住所、姓名、 生年月日、商號或名稱(在法 人爲其名稱、代表者之本籍、 住所、姓名、生年月日)				

別記第五號樣式

自動車交通事業廢止屆書

別記第六號樣式

自動車交通事業ニ從事スル運轉者就業解雇屆書

另記第七號樣式

關於自動車交通事業之事故呈報書

別記第七號樣式

自動車交通事業ニ關スル事故届書

事業人之本籍、住所、姓名、生年月日、商號或名稱、在法
人爲其名稱、代表者之本籍、姓名、生年月日

事業者ノ本籍、住所、氏名、生年月日、商號又ハ名稱、(法人
ニ在リテハ其ノ名稱、代表者ノ本籍、住所、氏名、生年月日)

事業種別	日時	場所	原因	關係者	被害程度	顛況	種類	其
								他

民生部令第七十一號

茲制定關於學校式日之件如左

康德八年十一月十日

民生部大臣 谷次亭

關於學校式日之件

式日應嚴肅舉行左列式典

元旦及建國節

(一) 全體敬禮

(二) 全體齊唱國歌

(三) 全體齊唱日本國歌

(四) 全體向宮城遙拜

(五) 校長(含學長、院長、所長、舍長、塾長或代表者以下倣此)於全體敬禮中揭開御容之帷幕

(六) 全體謹向御容行最敬禮

(七) 校長奉讀國本奠定詔書

(八) 校長於全體敬禮中關閉御容之帷幕

(九) 校長致適合式日之訓話

(十) 全體齊唱適合式日之歌

(十一) 全體敬禮

(十二) 全體敬禮

(十三) 全體敬禮

(十四) 全體敬禮

(十五) 全體敬禮

(十六) 全體敬禮

(十七) 全體敬禮

(十八) 全體敬禮

(十九) 全體敬禮

(二十) 全體敬禮

(二十一) 全體敬禮

(二十二) 全體敬禮

(二十三) 全體敬禮

(二十四) 全體敬禮

(二十五) 全體敬禮

(二十六) 全體敬禮

(二十七) 全體敬禮

(二十八) 全體敬禮

(二十九) 全體敬禮

(三十) 全體敬禮

(三十一) 全體敬禮

(三十二) 全體敬禮

(三十三) 全體敬禮

(三十四) 全體敬禮

(三十五) 全體敬禮

(三十六) 全體敬禮

(三十七) 全體敬禮

(三十八) 全體敬禮

(三十九) 全體敬禮

(四十) 全體敬禮

(四十一) 全體敬禮

(四十二) 全體敬禮

(四十三) 全體敬禮

(四十四) 全體敬禮

(四十五) 全體敬禮

(四十六) 全體敬禮

(四十七) 全體敬禮

(四十八) 全體敬禮

(四十九) 全體敬禮

(五十) 全體敬禮

(五十一) 全體敬禮

(五十二) 全體敬禮

(五十三) 全體敬禮

(五十四) 全體敬禮

(五十五) 全體敬禮

(五十六) 全體敬禮

(五十七) 全體敬禮

(五十八) 全體敬禮

(五十九) 全體敬禮

(六十) 全體敬禮

(六十一) 全體敬禮

(六十二) 全體敬禮

(六十三) 全體敬禮

(六十四) 全體敬禮

(六十五) 全體敬禮

(六十六) 全體敬禮

(六十七) 全體敬禮

(六十八) 全體敬禮

(六十九) 全體敬禮

(七十) 全體敬禮

(七十一) 全體敬禮

(七十二) 全體敬禮

(七十三) 全體敬禮

(七十四) 全體敬禮

(七十五) 全體敬禮

(七十六) 全體敬禮

(七十七) 全體敬禮

(七十八) 全體敬禮

(七十九) 全體敬禮

(八十) 全體敬禮

(八十一) 全體敬禮

(八十二) 全體敬禮

(八十三) 全體敬禮

(八十四) 全體敬禮

(八十五) 全體敬禮

(八十六) 全體敬禮

(八十七) 全體敬禮

(八十八) 全體敬禮

(八十九) 全體敬禮

(九十) 全體敬禮

(九十一) 全體敬禮

(九十二) 全體敬禮

(九十三) 全體敬禮

(九十四) 全體敬禮

(九十五) 全體敬禮

(九十六) 全體敬禮

(九十七) 全體敬禮

(九十八) 全體敬禮

(九十九) 全體敬禮

(一百) 全體敬禮

(一百一) 全體敬禮

(一百二) 全體敬禮

(一百三) 全體敬禮

(一百四) 全體敬禮

(一百五) 全體敬禮

(一百六) 全體敬禮

(一百七) 全體敬禮

(一百八) 全體敬禮

(一百九) 全體敬禮

(一百二十) 全體敬禮

(一百二十一) 全體敬禮

(一百二十二) 全體敬禮

(一百二十三) 全體敬禮

(一百二十四) 全體敬禮

(一百二十五) 全體敬禮

(一百二十六) 全體敬禮

(一百二十七) 全體敬禮

(一百二十八) 全體敬禮

(一百二十九) 全體敬禮

(一百三十) 全體敬禮

(一百三十一) 全體敬禮

(一百三十二) 全體敬禮

(一百三十三) 全體敬禮

(一百三十四) 全體敬禮

(一百三十五) 全體敬禮

(一百三十六) 全體敬禮

(一百三十七) 全體敬禮

(一百三十八) 全體敬禮

(一百三十九) 全體敬禮

(一百四十) 全體敬禮

(一百四十一) 全體敬禮

(一百四十二) 全體敬禮

(一百四十三) 全體敬禮

(一百四十四) 全體敬禮

(一百四十五) 全體敬禮

(一百四十六) 全體敬禮

(一百四十七) 全體敬禮

(一百四十八) 全體敬禮

(一百四十九) 全體敬禮

(一百五十) 全體敬禮

(一百五十一) 全體敬禮

(一百五十二) 全體敬禮

(一百五十三) 全體敬禮

(一百五十四) 全體敬禮

(一百五十五) 全體敬禮

(一百五十六) 全體敬禮

(一百五十七) 全體敬禮

(一百五十八) 全體敬禮

(一百五十九) 全體敬禮

(一百六十) 全體敬禮

(一百六十一) 全體敬禮

(一百六十二) 全體敬禮

(一百六十三) 全體敬禮

(一百六十四) 全體敬禮

(一百六十五) 全體敬禮

(一百六十六) 全體敬禮

(一百六十七) 全體敬禮

(一百六十八) 全體敬禮

(一百六十九) 全體敬禮

(一百七十) 全體敬禮

(一百七十一) 全體敬禮

(一百七十二) 全體敬禮

(一百七十三) 全體敬禮

(一百七十四) 全體敬禮

(一百七十五) 全體敬禮

(一百七十六) 全體敬禮

(一百七十七) 全體敬禮

(一百七十八) 全體敬禮

(一百七十九) 全體敬禮

(一百八十) 全體敬禮

(一百八十一) 全體敬禮

(一百八十二) 全體敬禮

(一百八十三) 全體敬禮

(一百八十四) 全體敬禮

(一百八十五) 全體敬禮

(一百八十六) 全體敬禮

(一百八十七) 全體敬禮

(一百八十八) 全體敬禮

(一百八十九) 全體敬禮

(一百九十) 全體敬禮

(一百二十) 全體

三 紀元節及天長節	(一) 全體敬禮	(二) 全體齊唱日本國歌	(三) 全體齊唱國歌	(四) 全體向帝宮遙拜
(五) 建國神廟創建紀念日	全體敬禮	全體齊唱日本國歌	全體齊唱國歌	全體向宮城遙拜
(六) 校長奉讀回鑾訓民詔書	全體敬禮	全體齊唱日本國歌	全體齊唱國歌	全體向宮城遙拜
(七) 校長於全體敬禮中揭開御容之帷	全體敬禮	全體齊唱日本國歌	全體齊唱國歌	全體向宮城遙拜
(八) 校長奉讀國本奠定之詔書	全體敬禮	全體齊唱日本國歌	全體齊唱國歌	全體向宮城遙拜
(九) 校長於全體敬禮中關閉御容之帷	全體敬禮	全體齊唱日本國歌	全體齊唱國歌	全體向宮城遙拜

幕
（十一）校長致適合式日之訓話
（十二）全體齊唱詔書奉答之歌
（十三）全體敬禮
六 入學日、畢業日及開校紀念日
（十四）全體敬禮
（十五）全體齊唱國歌
（十六）校長奉讀國本奠定詔書
（十七）校長致適合式日之訓話
（十八）全體齊唱適合式日之歌
（十九）全體敬禮
於前各款之外第四款以下得加校長認為有必要之式次
本令自公布日施行

		三	紀元節及天長節
一	同敬禮ス	二	同敬禮ス
一	同日本國歌ヲ齊唱ス	二	同日本國歌ヲ齊唱ス
一	同國歌ヲ齊唱ス	二	同國歌ヲ齊唱ス
一	同宮城ノ方向ニ向ツテ遙拜ス	二	同宮城ノ方向ニ向ツテ遙拜ス
一	同帝宮ノ方向ニ向ツテ遙拜ス	二	同帝宮ノ方向ニ向ツテ遙拜ス
一	同式日相當ノ訓話ヲ爲ス	二	同式日相當ノ訓話ヲ爲ス
一	同敬禮ス	二	同敬禮ス
一	同國歌ヲ齊唱ス	二	同國歌ヲ齊唱ス
一	同日本國歌ヲ齊唱ス	二	同日本國歌ヲ齊唱ス
一	同宮城ノ方向ニ向ツテ遙拜ス	二	同宮城ノ方向ニ向ツテ遙拜ス
一	校長ハ一同ノ敬禮裡ニ御容ノ屏	二	校長ハ一同ノ敬禮裡ニ御容ノ屏

(ヲ閉ヅ)

(十一) 校長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
(十二) 一同詔書奉答ノ歌ヲ齊唱ス
(十三) 一同敬禮ス

六 入學日、卒業日及開校紀念日

(十四) 一同國歌ヲ齊唱ス
(十五) 校長ハ國本奠定ノ詔書ヲ奉讀ス
(十六) 校長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
(十七) 一同式日相當ノ歌ヲ齊唱ス

(十八) 一同敬禮ス

前各號ノ外第四號以下ニ於テ校長ノ必要
ト認ムル式次ヲ加フルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
御容ヲ奉戴セザル學校ニ在リテヘ御容奉

幕
六 入學日、畢業日及開校紀念日
○○○○○○全體敬禮
○○○○○○全體齊唱國歌
○○○○○○校長奉讀國本奠定詔書
○○○○○○校長致適合式日之訓話
○○○○○○全體齊唱適合式日之歌
○○○○○○全體敬禮
於前各款之外第四款以下得加校長認為有必要之式次
附則
本令自公布日施行
於未奉戴御容之學校應代奉拜御容之式次
向帝宮遙拜
茲將關於日本人學生多數在學學校之式日
之件制定如左
民生部令第七十二號
於未奉置詔書時本之學校得謹書詔書以代
向帝宮遙拜
於未奉置詔書時本之學校得謹書詔書以代
向帝宮遙拜
茲將關於日本人學生多數在學學校之式日
之件制定如左
一 慶祝日
二 明治節
三 入學日、畢業日及開校紀念日
第一條 日本人學生多數在學學校之式日
第二條 前條之式日應嚴肅舉行左列式典
一 元 旦
○○○全體敬禮
○○○全體齊唱日本國歌

		三	紀元節及天長節
一	同敬禮ス	二	同敬禮ス
一	同日本國歌ヲ齊唱ス	二	同日本國歌ヲ齊唱ス
一	同國歌ヲ齊唱ス	二	同國歌ヲ齊唱ス
一	同宮城ノ方向ニ向ツテ遙拜ス	二	同宮城ノ方向ニ向ツテ遙拜ス
一	同帝宮ノ方向ニ向ツテ遙拜ス	二	同帝宮ノ方向ニ向ツテ遙拜ス
一	同式日相當ノ訓話ヲ爲ス	二	同式日相當ノ訓話ヲ爲ス
一	同敬禮ス	二	同敬禮ス
一	同國歌ヲ齊唱ス	二	同國歌ヲ齊唱ス
一	同日本國歌ヲ齊唱ス	二	同日本國歌ヲ齊唱ス
一	同宮城ノ方向ニ向ツテ遙拜ス	二	同宮城ノ方向ニ向ツテ遙拜ス
一	校長ハ一同ノ敬禮裡ニ御容ノ屏	二	校長ハ一同ノ敬禮裡ニ御容ノ屏

(ヲ閉ヅ)

(十一) 校長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
(十二) 一同詔書奉答ノ歌ヲ齊唱ス
(十三) 一同敬禮ス

六 入學日、卒業日及開校紀念日

(十四) 一同國歌ヲ齊唱ス
(十五) 校長ハ國本奠定ノ詔書ヲ奉讀ス
(十六) 校長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
(十七) 一同式日相當ノ歌ヲ齊唱ス

(十八) 一同敬禮ス

前各號ノ外第四號以下ニ於テ校長ノ必要
ト認ムル式次ヲ加フルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
御容ヲ奉戴セザル學校ニ在リテヘ御容奉

(十一) 全體敬禮
六 建國神廟創建紀念日

(十二) 全體敬禮

(十三) 全體齊唱國歌

(十四) 全體向宮城遙拜

(十五) 全體向建國神廟遙拜

(十六) 校長於全體敬禮中揭開御容之帷幕

(十七) 全體謹向御容行最敬禮

(十八) 校長奉讀國本奠定詔書

(十九) 校長於全體敬禮中關閉御容之帷幕

(二十) 校長致適合式日之訓話

(二十一) 全體齊唱詔書奉答之歌

(二十二) 全體敬禮

(二十三) 入學日、畢業日及開校紀念日

(二十四) 全體敬禮

(二十五) 全體齊唱國歌

(二十六) 全體齊唱日本國歌

(二十七) 全體敬禮

(二十八) 全體敬禮

(二十九) 全體齊唱國歌

(三十) 全體齊唱教育勅語

(三十一) 校長奉讀國本奠定詔書

(三十二) 校長致適合式日之訓話

(三十三) 全體齊唱適合式日之歌

(三十四) 全體敬禮

(三十五) 全體敬禮

(三十六) 全體敬禮

(三十七) 全體敬禮

(三十八) 全體敬禮

(三十九) 全體敬禮

(四十) 全體敬禮

(四十一) 全體敬禮

(四十二) 全體敬禮

(四十三) 全體敬禮

(四十四) 全體敬禮

(四十五) 全體敬禮

(四十六) 全體敬禮

(四十七) 全體敬禮

(四十八) 全體敬禮

(四十九) 全體敬禮

(五十) 全體敬禮

(五十一) 全體敬禮

(五十二) 全體敬禮

(五十三) 全體敬禮

(五十四) 全體敬禮

(五十五) 全體敬禮

(五十六) 全體敬禮

(五十七) 全體敬禮

(五十八) 全體敬禮

(五十九) 全體敬禮

(六十) 全體敬禮

(六十一) 全體敬禮

(六十二) 全體敬禮

(六十三) 全體敬禮

(六十四) 全體敬禮

(六十五) 全體敬禮

(六十六) 全體敬禮

(六十七) 全體敬禮

(六十八) 全體敬禮

(六十九) 全體敬禮

(七十) 全體敬禮

(七十一) 全體敬禮

(七十二) 全體敬禮

(七十三) 全體敬禮

(七十四) 全體敬禮

(七十五) 全體敬禮

(七十六) 全體敬禮

(七十七) 全體敬禮

(七十八) 全體敬禮

(七十九) 全體敬禮

(八十) 全體敬禮

(八十一) 全體敬禮

(八十二) 全體敬禮

(八十三) 全體敬禮

(八十四) 全體敬禮

(八十五) 全體敬禮

(八十六) 全體敬禮

(八十七) 全體敬禮

(八十八) 全體敬禮

(八十九) 全體敬禮

(九十) 全體敬禮

(九十一) 全體敬禮

(九十二) 全體敬禮

(九十三) 全體敬禮

(九十四) 全體敬禮

(九十五) 全體敬禮

(九十六) 全體敬禮

(九十七) 全體敬禮

(九十八) 全體敬禮

(九十九) 全體敬禮

(一百) 全體敬禮

(一百零一) 全體敬禮

(一百零二) 全體敬禮

(一百零三) 全體敬禮

(一百零四) 全體敬禮

(一百零五) 全體敬禮

(一百零六) 全體敬禮

(一百零七) 全體敬禮

(一百零八) 全體敬禮

(一百零九) 全體敬禮

(一百一十) 全體敬禮

(一百一十一) 全體敬禮

(一百一十二) 全體敬禮

(一百一十三) 全體敬禮

(一百一十四) 全體敬禮

(一百一十五) 全體敬禮

(一百一十六) 全體敬禮

(一百一十七) 全體敬禮

(一百一十八) 全體敬禮

(一百一十九) 全體敬禮

(一百二十) 全體敬禮

(一百二十一) 全體敬禮

(一百二十二) 全體敬禮

(一百二十三) 全體敬禮

(一百二十四) 全體敬禮

(一百二十五) 全體敬禮

(一百二十六) 全體敬禮

(一百二十七) 全體敬禮

(一百二十八) 全體敬禮

(一百二十九) 全體敬禮

(一百三十) 全體敬禮

(一百三十一) 全體敬禮

(一百三十二) 全體敬禮

(一百三十三) 全體敬禮

(一百三十四) 全體敬禮

(一百三十五) 全體敬禮

(一百三十六) 全體敬禮

(一百三十七) 全體敬禮

(一百三十八) 全體敬禮

(一百三十九) 全體敬禮

(一百四十) 全體敬禮

(一百四十一) 全體敬禮

(一百四十二) 全體敬禮

(一百四十三) 全體敬禮

(一百四十四) 全體敬禮

(一百四十五) 全體敬禮

(一百四十六) 全體敬禮

(一百四十七) 全體敬禮

(一百四十八) 全體敬禮

(一百四十九) 全體敬禮

(一百五十) 全體敬禮

(一百五十一) 全體敬禮

(一百五十二) 全體敬禮

(一百五十三) 全體敬禮

(一百五十四) 全體敬禮

(一百五十五) 全體敬禮

(一百五十六) 全體敬禮

(一百五十七) 全體敬禮

(一百五十八) 全體敬禮

(一百五十九) 全體敬禮

(一百六十) 全體敬禮

(一百六十一) 全體敬禮

(一百六十二) 全體敬禮

(一百六十三) 全體敬禮

(一百六十四) 全體敬禮

(一百六十五) 全體敬禮

(一百六十六) 全體敬禮

(一百六十七) 全體敬禮

(一百六十八) 全體敬禮

(一百六十九) 全體敬禮

(一百七十) 全體敬禮

(一百八十一) 全體敬禮

(一百八十二) 全體敬禮

(一百八十三) 全體敬禮

(一百八十四) 全體敬禮

(一百八十五) 全體敬禮

(一百八十六) 全體敬禮

(一百八十七) 全體敬禮

(一百八十八) 全體敬禮

(一百八十九) 全體敬禮

(一百二十) 全體敬禮

(一百二十一) 全體敬禮

(一百二十二) 全體敬禮

(一百二十三) 全體敬禮

(一百二十四) 全體敬禮

(一百二十四) 全體敬禮

(一百二十四) 全體敬禮

(一百二十四) 全體敬禮

(一百二十四) 全體敬禮

(一百二十四) 全體敬禮

本令自公布日施行
附則

四平省令第五號
茲依文官分限委員會官制第十二條及文官懲戒委員官制第十三條之規定將市縣置委任文官分限委員會及委任文官懲戒委員會之件制定如左

康德八年九月五日

四平省長 徐家桓
市縣置委任文官分限委員會之件

文官懲戒委員會及委任文官懲戒委員會

但各委員會之構成另定之
附則
本令自康德八年十月一日施行

茲依省官制第八條之規定將關於市縣委任文官分限委員會及委任文官懲戒委員會之件制定如左

康德八年九月五日

四平省令第六號

茲依文官分限委員會官制第十二條及文官懲戒委員官制第十三條之規定將市縣置委任文官分限委員會及委任文官懲戒委員會之件制定如左

康德八年九月五日

一 實 施 日 期 康德八年十一月十日
二 版 賣 價 格
品 名 單位 最 高 零 賣 價 格
蘋 莓 一斤 一號地區 二號地區 三號地區 四號地區 五號地區 六號地區
（里茶刀、印度
提利下斯、斯達
金奴、暗印撒布
克鹿曼除外）
• 三八 • 三八 • 四〇 • 四〇 • 四三 • 四五

備考
一 於各地區公定價格之指定地如另表
二 最高零賣價格為零賣店前交貨或最終送到之價格

省 令

關於市縣委任官以下之任免進退賞罰權限委任之件
四平省長 徐家桓

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
附則

關於市縣委任官以下之任免進退賞罰一切之權限並右列以外對市縣所屬之滿系警尉補以下之警察官及於初等學校等學校持有第三種許可狀之敎諭教導之任免、進退及賞罰一切之權限並右列以外對市縣所屬之委任官及委任官試補之謹慎及申誠之懲戒權委任於市縣長

康德八年九月五日

四平省長 徐家桓

市縣置委任文官分限委員會及委任文官懲戒委員會ヲ置クノ件ヲ左ノ通定ム

佈 告

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日實施

至於依康德八年經濟部佈告第八七號之蘋菓販賣價格廢止之此佈

康德八年十一月十日

經濟部大臣 蔡運升

計開

但各委員會之構成另定之
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

關於蘋菓最高零賣價格之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條之規定將蘋菓之最高零賣價格決定如左自康德八年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

經濟部大臣 蔡運升

計開

但シ各委員會ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム
附則
本令ハ康德八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市縣置委員會ヲ置クノ件

經濟部佈告第一九四號

另表(別表)

一號地區

奉天市、本溪湖市、撫順市、鞍山市、遼陽市、營口市、安東市、蘇家屯街、海城街、大石橋街、熊岳城街、蓋平街、瓦房店街、橋頭街、鳳城街、沙河鎮街、清原街、盤山街、鶴冠山

二號地區

新京特別市、鐵嶺市、四平市、阜新市、錦州市、劉房子街、范家屯街、公主嶺街、西安街、東豐街、郭家店街、鄭家屯街、昌圖街、開原街、西豐街、彰武街、黑山街、新立屯街、大虎山街、綏中街、北票街、興城街、朝陽鎮街、錦西街、農安街、前郭旗、義縣、溝帮子、太平川、山城銀街、朝陽街、海龍街

三號地區

吉林省、哈爾濱市、磐石街、蛟河街、九臺街、王爺廟街、洮南街、白城子街、開

交通部佈告第一三八號

關於郵政局及郵政局分室並郵政辦事所辦理事務範圍之件中修正之件

爲佈告事在康德七年交通部佈告第一〇八號關於郵政局及郵政局分室並郵政辦事所辦理事務範圍之件中修正如左已自康德八年十一月一日施行此佈

康德八年十一月十日

交通部大臣 阮 振 鐸

計開

另表之一 辦理事務範圍中(1)郵政局辦理事務範圍及(2)郵政局分室辦理事務範圍之匯兌、轉賬、(儲金、保險事務欄並(4)郵政辦事所辦理事務範圍之匯兌、轉賬)、儲金事務欄甲種之項內加添「國債利息之支付(但限於存入儲金者)」

康德八年十一月十日

地政總局長 曹 承 宗

計開

一公示期間 自康德八年十一月十九日至康德八年十二月十八日

一公示地址(場所) 吉林省農安縣公署

一地籍區劃名

地政總局佈告第二六五號

關於土地審決之件

爲佈告事在左開地籍區劃內之土地權利於康德八年十一月四日依土地審定法第八條之規定業經審決茲依同法第九條及同法施行令第二十三條之規定決定公示期間及公示地址如左仰即詳覽審決書爲要

康德八年十一月十日

交通部大臣 阮 振 鐸

計開

別表ノ一 取扱事務範圍中(1)郵政局取扱事務範圍及(2)郵政局分室取扱事務範圍ノ爲替、振替、儲金、保險事務欄並(4)郵政辦事所取扱事務範圍ノ爲替、振替、儲金事務欄甲種ノ項ニ「國債利息ノ支拂(但シ儲金ニ預入ノモノニ限ル)」ヲ加フ

康德八年十一月十日

地政總局長 曹 承 宗

計開

地籍區劃名 地
農安縣放牛溝村西山頭屯

同總 計
後放牛溝屯

六六〇四
六一〇
六九〇

總筆

三

通街、大齊街、輯安街、臨江街、通化街、通遼街、一面坡街、綏化街、慶城街、阿城街、三岔河街、雙城街、呼蘭街、肇東街、安達街、五常街、海倫街、柳河街

四號地區

牡丹江市、敦化街、綏陽街、綏芬河街、林口街、勃利街、東京城街、穆棱街、寧安街、海林街、東安街、虎林街、鷄西街、永安街、圖們街、延吉街、明月溝街、珲春街、汪清街、濱道愛河、梨樹鎮、龍井街

五號地區

佳木斯市、齊齊哈爾市、湯原街、千振街、彌榮街、訥河街、嫩江街、泰康街、平原街、承德街、赤峰街、凌源街、北安街、克山街、柏葉樹、鶴崗海拉爾市、滿洲里市、博克圖街、牙克石街、黑河街、璦琿街、成吉思汗

六號地區

地政總局佈告第一六六號

關於土地審決之件

爲佈告事查左開地籍區劃內之土地權利於
康德八年十一月四日依土地審定法第八條
之規定業經審決茲依同法第九條及同法施
行令第二十三條之規定決定公示期間及公
示地址如左仰卽詳覽審決書爲要

再者因以上之審決如認為其權利有受損害

康德八年十一月十日
地政總局長 曹承宗

地政總局佈告第二六六號
土地審決ニ關スル件
康熙八年十一月四日左記地籍區劃内ノ土地權利ニ付土地審定法第八條ノ規定ニ依リ審決シタルヲ以テ同法第九條及同法施行令第二十三條ノ規定ニ依リ左記ノ通公示期間及公示場所ヲ定メ審決書ヲ閲覽セシム
右審決ニ依リ權利ヲ害セラレタリトスル

者ハ公示ノ初日ヨリ起算シ六十日以内ニ所轄縣長ヲ經テ高等土地審定委員會ニ識決ヲ申請スルコトヲ得若シ右期間内ニ裁決ノ申請ナキトキハ審決ハ確定シ爾後當該土地ニ對シ不動產登錄法ヲ適用セラルベシ

七五二
一〇六
一〇五
一〇四
一〇三
一〇二
一〇一
一〇〇
九〇八
八〇七
七〇六
六〇五
五〇四
四〇三
三〇二
二〇一
一〇〇

◎更正(訂正)

公報號數 頁 數 段次 行 數

誤 正 備 考

二二四九 七三 一、三 二 治安部令第四十二號

二二五〇 九七 一、三 二 治安部令第四十三號

同 同 九八 二 未一〇 勅令第三百五十二號

勅令第二百五十二號

同 同

●政府公報第二千二百五十號民生部令第七十號暫行勞動者登記規則樣式第五號(背面)其後者刪除(作稿錯誤)

●廉德七年五月十日政府公報第一千八百十一號第二〇五頁獎賞事項欄內號券年月日欄第三行「廉德五、一〇、二十五」應作「廉德五、一、一、五」係作稿錯誤

●第二千二百四十九號第六〇頁第一端第六行「號數」應作「郵號」係誤排

●第二千二百五十號第二〇九頁上端更正欄第一行「地政總局佈告第二五四號」應作「地政總局佈告」係作稿錯誤

公 告

○號錘無效

查左列號錘損傷至大印影不明今後作為無效

廉德八年十一月十日

林野局

號錘種別及號數

一官放 第二二六號、第一二五號、第一二六
號、第一五三號 計四顆

一官林 第三〇〇號、第三〇五號、第三二〇
號、第三三四號、第三二八號、第七五九號、
第七六二號 計七顆

牡丹江區法院 審判官 小宮山照雄
證請人 株式會社東滿日日新聞社
右代理人 富田 廣四
右聲請代理人 高野 勤一
因由右聲請人就左記目錄記載之證券證請公示催
告前來故其持有人應於廉德九年五月三十一日午
前十時以前向本法院送報其權利並提出該證券如
於右日期前不為聲報並提出時得宣告其無效

牡丹江市乾隆大街壹之拾五號
牡丹江區法院 審判官 小宮山照雄
證請人 株式會社東滿日日新聞社
右代理人 富田 廣四
右聲請代理人 高野 勤一
因由右聲請人就左記目錄記載之證券證請公示催
告前來故其持有人應於廉德九年五月三十一日午
前十時以前向本法院送報其權利並提出該證券如
於右日期前不為聲報並提出時得宣告其無效

公 告

○極印無效

左記極印損傷甚ダシク印影不鮮明ニ付爾今無效

廉德八年十一月十日

林野局

極印種別及號數

一官放 第二二六號、第一二五號、第一二六
號、第一五三號 計四挺

一官林 第三〇〇號、第三〇五號、第三二〇
號、第三三四號、第三二八號、第七五九號、
第七六二號 計七挺

牡丹江市乾隆大街壹之拾五號
牡丹江區法院 審判官 小宮山照雄
證請人 株式會社東滿日日新聞社
右代理人 富田 廣四
右代表者取締役 富田 廣四
右申立代理人 高野 健一
因由右聲請人就左記目錄記載之證券付公示催告
告前來故其持有人應於廉德九年五月三十一日午
前十時以前向本法院送報其權利並提出該證券如
於右日期前不為聲報並提出時得宣告其無效

牡丹江市乾隆大街壹之拾五號
牡丹江區法院 審判官 小宮山照雄
證請人 株式會社東滿日日新聞社
右代理人 富田 廣四
右聲請代理人 高野 勤一
因由右聲請人就左記目錄記載之證券付公示催告
告前來故其持有人應於廉德九年五月三十一日午
前十時以前向本法院送報其權利並提出該證券如
於右日期前不為聲報並提出時得宣告其無效

公 告

○極印無效

左記極印損傷甚ダシク印影不鮮明ニ付爾今無效

廉德八年十一月十日

林野局

極印種別及號數

一官放 第二二六號、第一二五號、第一二六
號、第一五三號 計四挺

一官林 第三〇〇號、第三〇五號、第三二〇
號、第三三四號、第三二八號、第七五九號、
第七六二號 計七挺

新潟特別市老松町四番地有田屋陶器店
證請人 森 ミツ
牡丹江市乾隆大街壹之拾五號
牡丹江區法院 審判官 小宮山照雄
證請人 株式會社東滿日日新聞社
右代理人 富田 廣四
右代表者取締役 富田 廣四
右申立代理人 高野 健一
因由右聲請人就左記目錄記載之證券付公示催告
告前來故其持有人應於廉德九年五月三十一日午
前十時以前向本法院送報其權利並提出該證券如
於右日期前不為聲報並提出時得宣告其無效

新潟特別市老松町四番地有田屋陶器店
證請人 森 ミツ
牡丹江市乾隆大街壹之拾五號
牡丹江區法院 審判官 小宮山照雄
證請人 株式會社東滿日日新聞社
右代理人 富田 廣四
右代表者取締役 富田 廣四
右申立代理人 高野 健一
因由右聲請人就左記目錄記載之證券付公示催告
告前來故其持有人應於廉德九年五月三十一日午
前十時以前向本法院送報其權利並提出該證券如
於右日期前不為聲報並提出時得宣告其無效

公 告

○極印無效

左記極印損傷甚ダシク印影不鮮明ニ付爾今無效

廉德八年十一月十日

林野局

極印種別及號數

一官放 第二二六號、第一二五號、第一二六
號、第一五三號 計四挺

一官林 第三〇〇號、第三〇五號、第三二〇
號、第三三四號、第三二八號、第七五九號、
第七六二號 計七挺

新潟特別市老松町四番地有田屋陶器店
證請人 森 ミツ
新潟特別市老松町四番地有田屋陶器店
證請人 森 ミツ
牡丹江市乾隆大街壹之拾五號
牡丹江區法院 審判官 小宮山照雄
證請人 株式會社東滿日日新聞社
右代理人 富田 廣四
右代表者取締役 富田 廣四
右申立代理人 高野 健一
因由右聲請人就左記目錄記載之證券付公示催告
告前來故其持有人應於廉德九年五月三十一日午
前十時以前向本法院送報其權利並提出該證券如
於右日期前不為聲報並提出時得宣告其無效

新潟特別市老松町四番地有田屋陶器店
證請人 森 ミツ
新潟特別市老松町四番地有田屋陶器店
證請人 森 ミツ
牡丹江市乾隆大街壹之拾五號
牡丹江區法院 審判官 小宮山照雄
證請人 株式會社東滿日日新聞社
右代理人 富田 廣四
右代表者取締役 富田 廣四
右申立代理人 高野 健一
因由右聲請人就左記目錄記載之證券付公示催告
告前來故其持有人應於廉德九年五月三十一日午
前十時以前向本法院送報其權利並提出該證券如
於右日期前不為聲報並提出時得宣告其無效

吉林省德惠縣松花江村後山屯
 聲請人 島瀨 民一
左記證券之持有人應於康德九年五月二十五日午
前十時以前向本法院聲報其權利並提出該證券如
於右日期前不為聲報並提出時得宣示其證券為無
效

發出手人
滿洲中央銀行黑河支行
收付人
滿洲中央銀行總行營業處
領收人
持有人
發出年月日
康德八年十月九日
支付地
新京
最終持有人
島顥長一

吉林省德惠縣松花江村後山屯
申立人 島瀬 民一
左記證券ノ所持人ハ康徳九年五月二十五日午前
十時迄ニ當法院ニ其ノ權利ヲ届出テ且證券ヲ提
出スペク若シ右期日迄ニ届出及提出ヲ爲サザル
トキハ其ノ無效ヲ宣言スルコトアルベシ

振出人 滿洲中央銀行黑河
拂人 滿洲中央銀行總行
取人 持參人
年月日 康德八年十月九日
地 新京

◎公示送達

康德八年刑第二二號

票喚召人告被日期判公

姓名	高萬山
性別	男
居住	住址不明

右者因竊盜被告事件於康德八年十一月十二日午前十時於臨江區法院開庭公判應迄
於定刻到前開場所

如無正當事由而不到時依刑事訴訟法第七十八條得拘引之

康德八年十月二十二日

臨江區法院

審判官曾昭慶

○鑛業權公賣

右爲臍本

康德八年十月二十四日

卷之三

政府公報 第二千二百五十一號

康德八年十一月十日

星期一

◎商租權整理審決

依商租釐整理法第十一條已實行審決茲依同法第十二條第二項公告其事旨如左

康德八年十一月十日

地政總局長 曹承宗

商租権整理法第十一條ニ依リ審決シタルヲ以テ
同法第十一條第二項ニ依リ左ニ其ノ要旨ヲ公告

康德八年十一月十日

地政總局長 曹承宗

◎商租權整理審決

商租権整理法第十一條ニ依リ審決シタルヲ以テ
同法第十一條第二項ニ依リ左ニ其ノ要旨ヲ公告

康德八年十一月十日

地政總局長 曹承宗

身分證明書遺失

左記職員身分證明書經呈報遺失今後作爲無效

(總務廳地方處)

記

身分證明書遺失

左記職員身分證明書遺失セル旨届出アリタルニ付今後無効トス

(總務廳地方處)

所屬	官職	姓名	發行年月日	號數	遺失年月日	遺失地址(場所)
東安省	技士	張秋信	康德六年八月七日	第一七八號	康德八年三月二日	於恒山炭礦處
同	同	實樞雄	康德八年一月十三日	第九三四號	康德八年三月十日	於通化縣三站村
奉天省	同	葉拱秀	康德八年二月三日	第二四八號	康德八年三月二十五日	於奉天市鐵西區
同	同	田德玉	康德八年九月十四日	第六〇八號	康德八年七月三十日	於安東市公署
四平省	同	劉浩昌	康德八年七月五日	第六號	康德八年八月二十六日	不明
西安縣	同	楊仁	康德八年十二月二十七日	第四三一號	康德八年六月二十五日	同
東安省	同	田浩昌	康德七年七月三十日	第五二一號	康德八年九月十五日	於東安省東光寮內
同	同	王夫	康德七年七月二十五日	第二二二三號	同	

任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス
スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス
監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス
會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス
監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス	會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス	監査役附柒字一、須崎憲三ハ康德六年十二月二十六日重任ス

19

廣告

商業登記

合資會社設立

商號

太平商事合資會社

本店 哈爾濱馬家溝協和街五四號之一〇

目的

一山貨雜貨特產物之貿賣及經紀業

二金錢貸守並經紀業

三大豆吸墨器

四其他一切附隨事業

一設立之年月日 康德六年七月四日

一無限責任社員之氏名住所出資標的及價格及履行部分

國幣一萬五千圓 五千圓履行 馬場口太吉

哈爾濱市馬家溝區十課街二九號之一

一有限責任社員之人數出資之總額及履行部分

國幣一萬五千圓 內五千圓履行 二名

一存立時期 設立登記之日起十五箇年

廣告

商業登記

營口三泰棧株式會社變更及支店移轉

一康德六年十月四日目的ヲ左ノ如ク變更ス

一特產物及雜貨類ノ買賣代理買付並ニ販賣及通關船積

二運送業

三特產加工業

四上記各項ニ附帶スル一切ノ業務

一康德六年十月四日錦州城內北街第七三號ノ支

店ヲ左ノ地ニ移轉ス

支店 錦州錦華區朝日街一四番地

一康德七年一月六日登記

一社員姓名住所出資之標的價格及履行部分

一康德六年十一月二十四日存立ノ時期及公告ノ方法ヲ左ノ通り變更ス

一存立ノ時期 設立ノ日ヨリ滿五十箇年

公告ノ方法 营口市ニ於テ兌行スル營口新報

一日本滿商事株式會社變更及資本增加(支店)

一康德六年十二月十五日各株ニ付拂込ミタル株

金額ヲ左ノ通り變更ス

各株ニ付拂込ミタル株金額 國幣五十圓

一資本增加ノ總額 國幣二千萬圓

一資本增加決議年月日 康德六年十二月十六日

一各新株ニ付拂込ミタル株金額 國幣十二圓五角

一康德六年十二月二十四日左記ノ者監查役ニ就

任ス

ニ掲載ス

一康德六年十二月二十四日左記ノ者監查役ニ就

加島正一 营口市大和區南本街二丁目第一七號

一康德七年一月八日登記

一大和土地建物株式會社變更

一鐵鋼類及石炭ノ買賣、輸出及輸入

二前號以外ノ重要生產資材ノ買賣、輸出及輸入

之助、大邦セイハ康德六年十二月二十六日重

支店 新京特別市富士町三丁目二番地

一存立時期 設立之日起滿二十箇年

一存立時期 設立之日起滿二十箇年

一存立時期 設立之日起滿二十箇年

一存立時期 設立之日起滿二十箇年

輸入

輸出

● 東洋拓殖株式會社社債償還外國支店
一 因康德六年六月十五日左記社債總額內一部償還其社債總額變更如左
第一百五回社債總額 金一千三百十九萬圓
第一百二十回社債總額 金九百三十九萬圓
第一百二十一回社債總額 金九百三十九萬圓
第一百二十四回社債總額 金九百十萬六千圓
第一百二十七回社債總額 金一千九百五十二萬八千五百圓
● 哈爾濱自動車交通合資會社變更
一 董事田島繁二康德六年六月三十日其住所移轉於哈爾濱市道外承德街二十五號
一 無限責任社員金富成康德六年六月三十日其住者就任董事
● 三井物產株式會社變更(外國會社)
一 董事田島繁二康德六年六月五日辭任同日左記
本村精三 東京市中野區住吉町五六番地
支店 朝鮮清津府港町七番地
滿洲國牡丹江市太平路八番地
中華民國張家口下堡內興隆街路南門牌一
中華民國山東省濟南五馬路綿馬路一三七號
蘭領爪哇バタビヤ、マラカストラ第一
番埃及國亞歷山ミダン、イスメール第一
第四番
● 株式會社太陽貿易公司變更
一 康德六年五月三十日目的及公告方法變更如左
目的
一一般雜貨販賣業
一倉庫業
一運溪業
一委託販賣業
一代理業
一前各項附帶一切業務並融資及投資
一廣告之方法 本會社之公告於哈爾濱日日新聞
掲載之

● 滿洲計器株式會社資本增加(支店)
一 增加資本總額 國幣五百萬圓
一 資本增加決議年月日 康德六年五月二十日
一 各新株已繳之株金額 國幣二十圓
● 株式會社哈爾濱實業銀行變更
一 監查人藤井忠次康德六年六月二十二日死亡
康德六年七月八日登記
● 商號廢止
一 康德六年六月三十日商號潤列林商會廢止
康德六年七月八日登記
● 商號新設
一 商號 三和商事
一 營業之種類 電話買賣及公債並株式買賣營業
一 營業所 哈爾濱市道裡中國九道街三〇號之二
一 商號使用者之姓名住所
白基衡 哈爾濱市道裡中國九道街三〇號之二
代表會社之董事 小川逸郎
一 日滿商事株式會社變更(支店)
一 代表會社之董事武部治右衛門康德六年六月二十九日辭任代表會社同日左記者就任代表會社
支店 大阪市北區宗是町一番地大阪商船ビル内之支店更正如左
支店 大阪市北區宗是町一番地
● 商號新設
一 商號 東記皮莊
一 營業之種類
一 猪鬃馬尾各種獸皮買賣
二 棉絲雜貨買賣
三 其他一切附屬業務
一 營業所 哈爾濱道外太古街二六三號
一 商號使用者之姓名住所 李玉成 哈爾濱道外太古街二六三號
● 商號新設
一 商號 格特拉合見別爾各洋行
一 營業之種類 布疋呢絨雜貨販賣
一 營業所 哈爾濱市埠頭區中國大街第四〇號
一 商號使用者之姓名住所 郭意誠 新京特別市大同大街三〇二號
江川忠式 奉天市雪見町二九番地
理事 富田組 大連市柳町五〇番地
理事 岩田保次郎 新京特別市大同大街三〇二號
監事 江川忠式 奉天市雪見町二九番地
理事 郭意誠 新京特別市大同大街三〇二號
監事 松川英雄 大連市三室町二番地九號
監事 久保田忠吉 新京特別市朝日通八一番
監事 姜永業 奉天省金州會美家街第四六二
監事 久保田忠吉 新京特別市朝日通八一番
監事 姜永業 奉天省金州會美家街第四六二
監事 久保田忠吉 新京特別市朝日通八一番
監事 姜永業 奉天市大和區雪見町二九號
● 合資會社設立
一 商號 合資會社營口精穀所
一 商號 合資會社營口精穀所
一 目的
一 精穀並精粉
二 農事經營
一本店 營口市大和區北本街第三二號
五右四項ニ附隨スル一切ノ業務

● 橫濱正金銀行支店移轉(外國支店)
本會社ハ前項第二號又第三號ノ事業ヲ管マン
ヲ得ルニ非ザレバ之ヲ讓渡スルコトヲ得ズ
トスルトキハ產業部大臣ノ認可ヲ受クルモノ
トス
● 合資會社川畑組變更
支店 佛國巴里第一區オペラ街一二番地
ノ地ニ移轉ス
康德六年十二月二十六日會社ヲ代表スベキ取締役及取締役小川逸郎並取締役竹内徳三郎、同三構又三、同前田寛伍、同南治之助、同久保宇、同栗野俊一、同米澤靖、同富田租、同岩田保次郎、監查役松川英雄、同久保田忠吉ハ解任セラレ同日左記者就任代表會社
理事ニ就任ス
理事長 小川逸郎 新京特別市大同大街三〇二號
二號 竹内徳三郎 新京特別市大同大街三〇一
理事 久保宇 撫順北臺町一丁目一番號
理事 前田寛吉 新京特別市大同大街三〇二
號
理事 南治之助 新京特別市大同大街三〇一
號
理事 久保宇 撫順北臺町一丁目一番號
理事 河本大作 新京特別市大同大街三〇一
號
理事 江川忠式 奉天市雪見町二九番地
理事 郭意誠 新京特別市大同大街三〇二號
監事 松川英雄 大連市三室町二番地九號
監事 久保田忠吉 新京特別市朝日通八一番
監事 姜永業 奉天市大和區雪見町二九號
● 三井物產株式會社變更(外國支店)
一 滿洲國代表者大塚俊雄ハ康德六年十一月一日
史進秀 哈爾濱市道外南頭道街六五號
史潤秀 哈爾濱市道外南頭道街六五號
三井物產株式會社變更(外國支店)
一 滿洲國代表者大塚俊雄ハ康德六年十一月一日
其住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
新嘉坡 哈爾濱市道外南頭道街六五號
三井物產株式會社變更(外國支店)
一 康德七年一月十七日登記
新嘉坡 哈爾濱市道外南頭道街六五號
新嘉坡 哈爾濱市道外南頭道街六五號
● 日滿商事株式會社更正(支店)
一 康德七年一月十二日理事江川忠式ノ住所ヲ左
ノ如ク變更正ス
奉天市大和區雪見町二九號
● 合資會社設立
一 商號 合資會社營口精穀所
一 商號 合資會社營口精穀所
一 目的
一 精穀並精粉
二 農事經營
一本店 營口市大和區北本街第三二號
五右四項ニ附隨スル一切ノ業務

一 般 廣 告

第九回營業報告書（自康德八年四月一日至康德八年九月三十日）

右之通鑑也

株式會社 滿洲進和田友吉會

借 方 (資產之部) 貸 方 (負債之部)

三
11

前記各項ヲ調査シ其ノ正確ナル事ヲ保證候也

現商有營奉不
銀保組立合
業天鐵動
價用西工
勘證什工
場產券器品金定金金金資
勘證什工
動西工
業天鐵
用西工
價用西工
業天鐵
動西工

當割支買假手社別法資
期引拂 當員途定
純掛受 積積本
益手手 基退立立
金形形金金職金金

二、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
一、四〇、五〇〇・〇〇
二、〇四一、五三一・三八
一一〇、〇〇〇・〇〇

受賣奉大大假組立保銀現商有營奉不合
取天阪連合行業價鐵動
掛工進進拂出替證勘證西
手場和和資什工
計勘勘勘資形金定定定金金金定金品券器場產

八、一、一、一、
五、五、五、五、
六、三、三、三、
八、四、四、四、
九、九、九、九、
八、六、六、六、
三、四、四、四、

合	期	引拂	當員	途定
計	純	掛受	積積本	
	益	手手	基退立	立
		金形形	金金職	金金金

貨幣發行局
紙幣備證額
準保鑄

自康德八年十月二十六日
至同十一月一日

滿洲中央銀行

The image shows a vertical column of ten Chinese characters arranged in a descending staircase pattern. From top to bottom, the characters are: '金' (Jīn), '木' (Mù), '火' (Huǒ), '水' (Shuǐ), '土' (Tǔ), '人' (Rén), '口' (Kǒu), '目' (Mù), '耳' (ěr), and '足' (Zú). Each character is rendered in a bold, black, stylized font.

資本金壹千萬圓（拂込済）

東京市日本橋區兜町三番地

社長木下

所在地店

札幌・仙臺・新潟・横濱・濱松・名古屋・京都・大阪
神戶・岡山・廣島・高松・小倉・福岡・臺北・京城
滿洲山一證券株式會社

